

第 15 回 内痔核治療法研究会総会 演題募集のご案内

第 15 回 内痔核治療法研究会総会

当番世話人 加藤 典博

新型コロナウイルス感染の影響で延期となっていた第 14 回内痔核治療法研究会総会が 2021 年 9 月 5 日に WEB 形式で開催されました。今回の第 15 回は 2022 年 7 月 10 日（日）に従来の対面形式で開催することに致しますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては開催形式が変更になる可能性があります。2022 年 3 月末の状況で判断致しますので、ご了承のほどよろしくお祈いします。

ALTA が発売されて 17 年が過ぎ、現在まで単独療法に加えて併用療法が行われてきております。ALTA 単独・併用療法については、本研究会でもテーマとして数回取り上げられ、それぞれの長所・短所について検討されてきましたが、未だに「併用療法は本当に必要か?」「併用療法はどのような病変に行うべきか?」「現在、併用療法はどのように行われているのか?」などの疑問で思い悩むことがあると思います。今回はその疑問への答えを二つの主題に分けて探ることに致しました。

【主題】

I : 併用療法の必要性と適応

II : 併用療法の手術手技と工夫

【検討内容】

各施設で現在まで実施されてきた ALTA 療法の症例（病変）の成績を分析し、その結果に基づき主題 I、II についての答えを導き出していきたい。

主題 I では、併用療法を再発率、合併症、術後疼痛などの面から単独療法と比較し、その必要性を再確認し、その上で併用療法の適応を形態的条件（内外痔核の大きさ、硬さ、連続性、脱出度、歯状線の状況、施設独自の分類など）から具体的に示していきたい。

主題 II では、内痔核に ALTA を注射し、外痔核になんらかの処置（切除、結紮、ACL など）を追加する併用療法に絞り、「ALTA 先行か・外切先行か」、「歯状線付近の支持組織の処理をどうするか」、「根治的、機能的な面から切除範囲をどうするか」などを中心に各施設のこだわりや工夫を述べ、その根拠を示していきたい。

なお、各主題の議論を同じ条件下で進めるために、可能な限り以下の 2 点についてのご配慮をお願いしたい。

- ① ALTA 併用療法の術式の表記は「併用療法の名称記載に関する委員会（2019. 12. 15）」の検討結果に準ずる（別紙）。
- ② 再発率（無再発率）に関しては、再発の定義・対象群の定義・統計方法（ex. Kaplan-Meier 法）を明記する。

以上、前述の主題に沿った演題を公募し、それぞれでパネルディスカッションを行いますので、奮っての応募と総会への参加をお願い致します。

【第15回 内痔核治療法研究会総会 演題募集要項】

《 開催日時・場所 》

日 時：2022年7月10日（日）9：30～15：00（予定）

場 所：ソラシティ カンファレンスセンター

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ 2階

《 募集主題 》

I：併用療法の必要性和適応

II：併用療法の手術手技と工夫

《 応募資格 》

応募および発表者は内痔核治療法研究会の会員のみとします。

《 演題応募方法 》

Eメールにて第15回内痔核治療法研究会総会事務局宛て、「演題抄録」をご送付ください。

《 演題抄録 》

演題名、所属、演者（共同演者含む）、および抄録本文（800字程度）を記載ください。

使用ソフトはMicrosoft Wordとし、文書名は「(演者名).doc」としてください。

《 演題抄録提出期間 》 2022年3月1日（火）～4月4日（月）

《 演題抄録送付先 》

第15回内痔核治療法研究会総会事務局

Eメール： alta.zione@j-dolph.co.jp （全て半角小文字）

《 ご応募に際して 》

1. 演題（抄録）受付後、確認メールを差し上げます。連絡がない場合は事務局までお問い合わせください。
2. 抄録集は6月上旬に発行（発送）予定です。
Eメールで応募いただいた内容が最終の抄録集原稿になります。
3. 抄録査読による演題の採否は、当番世話人へ一任しています。
4. 採否等は4月下旬～5月上旬頃に連絡させていただきます。

《 第15回内痔核治療法研究会総会事務局 》

〒570-0081 大阪府守口市日吉町2-5-15

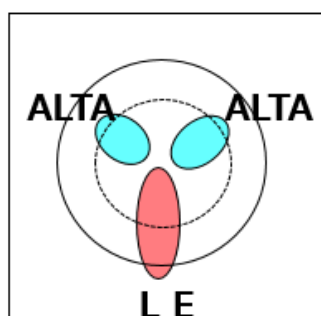
ジェイドルフ製薬株式会社 営業本部内

担当：塚谷、小野 TEL 06-7507-2192 FAX 06-7507-2528

Eメール：alta.zione@j-dolph.co.jp

＜ALTA 併用療法の名称記載＞

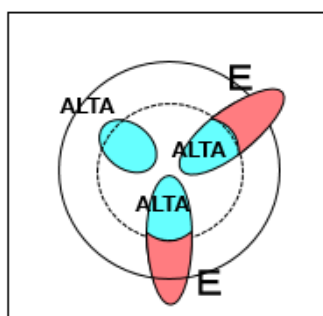
1. 治療法の部位が異なる併用療法



LE + A
読み方：エル プラス エー

結紮切除術：LE (Ligation & Excision)
ALTA療法：A

2. 同一部位の内痔核と外痔核の治療法が異なる併用療法



1) 外痔核切除(E)先行

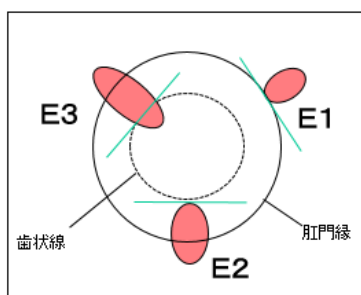
E · A
読み方：イー ドット エー

2) ALTA療法(A)先行

A · E
読み方：エー ドット エー

切除術：E (Excision)
ALTA療法：A

2-2. 外痔核切除 (E) の分類



E1：切除が肛門縁より外
E2：切除が歯状線に及ばないもの
E3：切除・剥離が歯状線を越えるもの
(歯状線までを含む)

外痔核切除：E (Excision)

3. Anal cushion lifting (ACL) との併用

ACL · A または A · ACL (読み方：エーシーエル ドット エー / エー ドット エーシーエル)

4. 分離結紮術 (DL) との併用

(行為が分割なので分割結紮と呼ぶ方が好ましい)

DL (Divided Ligation) → L とする

L · A または A · L (読み方：エル ドット エー / エー ドット エル)